



All Rikkyo Tennis

セントポールテニスクラブ会報

発行所
セントポールテニスクラブ

発行人 白 寄 誠 爾
柏 原 啓 大
五 味 瑛 利 子

男子痛恨の4部降格、女子無念の3部残留!!



「女子部惜しくも残留」

十八年度の関東大学テニスリーグは男子部、三部で2勝3敗の5位。四部2位の東農大と入れ替わりの戦いを戦いましたが残念ながら惜敗。四部降格となりました。女子部は三部で4勝1敗の2位。二部5位の東農大と上部入れ替え戦を戦いました。接戦の末、惜敗。三部残留となりました。

入れ替え戦を含め沢山のOB・OGが応援に駆けつけて、現役と共に昇格を目指しましたが残念な結果となりました。しかしながら今回のリーグ

戦で反省点も多々ありますが、期待を持てる下級生が数名おり、来年度以降の期待を持つ事が出来ます。今後も現役・OB・OGの連携を益々強め、上部昇格を共に戦って行きます。



立教テニス部の現状を把握して頂く為にこのARTを隔々までご一読下さい。

「新しく 部長になりました」

テニス部長 伊沢 和平

前部長の淡路先生ご退職の後を引き継ぎ、今年度から部長をさせていただきました。淡路先生のようにお役に立てるか覚束ないですが、自分なりに精一杯責任を果たそうと思っておりますのでよろしくお願い致します。

私自身、住んでいます団地のテニスコートでコンスタントにテニスは楽しんでおりました。この機会に時々部の練習に混ぜてもらおうかと思っておりました。ただし、実は既に、女子部の練習および合宿に参加させていだいたのですが、その打球の威力にびっくりしておりました。心配を現はしてあります。どうも体力的には、現役の諸君にはとてもついて行かないので、せめて長年テニスをやってきた経験からのアドバイスができればと思っております。さて、今年度は、男子は降格、女子は昇格ならずと非常に残念なリーグ戦の結果となりました。僅差でこうなりました。選手個人個人はそれぞれに思い当たる事があるのではと思うが、部全体としてきちんとして分析する必要があります。今年度の残暑の厳しさは異常ともいえるほどではありましたが、相手以外の、こうした起こる可能性のある状況についてどれだけ準備をしていたかを今一度点検してはどうかと思っております。来年度は、「できることはやった、後は結果を待つのみ」という状態でリーグ戦に臨みましょう。最後に、今年度の幹部の4年生の諸君、お役目ご苦労さまでした。来年度は男女とも昇格しますので、是非試合を見に来てください。

「必然」とお詫び、そしてお約束

男子監督 武市 広治

2年前にコーチに就任し、今年度より男子テニス部監督を仰せつかりました。武市広治です。皆様には日頃のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。仕事柄、多くの国内のトップ選手と接しますが、現役学生とのスキルのギャップを理論的に把握し、正確に伝えることにより少しでもレベルアップをすべくコミュニケーションして参ります。

一昨年は3部復帰、昨年は2部との入替までステージを上げましたが、あえて昨年のリーグ終盤と今年のリーグ降格の比較をしたいと思います。一昨年の昇格の歓喜を再度味わうべく、昨年は闘志に溢れしかりとトレーニングし、対外試合なども数多くこなしました。結果、最終の学習院戦で9対0での勝利が2部との入替の条件のなか、見事ポイントをとれ、勝利し、入替に臨みました。今年はそのレギュラーの大半が卒業し、新戦力に頼らざるを得ない状況のなか、一昨年、昨年ほど心技体とも準備が出来ず、結果、下の入れ替えにかかり降格いたしました。申し上げたいのは「どちらでもわずかにポイント差」で明暗が分かれ、それは紛れもなく「準備の差」であるということ。これは「必然」としか思えてなりません。日々の心構えや鍛錬、そして直前の研ぎ澄まされた準備がその「差」を生むということ。これを肝に銘じて1年間行動し、即3部復帰し、翌年2部を狙います。

「監督挨拶」

女子監督 金谷 美幸

以下、具体的な方法。(1)体力の強化。痙攣や肉離れでの戦力ダウンが今年の敗戦の主因です。授業と睡眠時間以外の大半をテニスに充てる意識改革をし、昨年の倍は練習して体力を強化します。(2)練習内容の見直し。限られた時間で効率よく強化するメニューを細部まで見直します。試合と同じ心拍数でのオンコートトレーニングを徹底します。(3)筋力の強化。決定力があるか無いかは極めて重要です。一発で決める筋力を、オフコートトレーニングと栄養摂取で強化します。(4)経験と精神力の強化。対外試合を多くこなし、同部校よりもレベルの高いステージで試合経験を積み重ねます。高地トレーニング後に平地で走るランナーのように「楽に試合に臨める」自信を培います。(5)相手の把握。対戦する相手校のプレーは全てビデオに収録し、個別に戦術、戦略を練ります。(6)徹底した準備。試合直前の準備を徹底します。ラケットの本数やストリングの管理、ベンチコーチのアドバイスや備品の準備などを徹底し万全の体制で試合に臨みます。(7)「今年の悔しさ」を年間を通して継続させます。

今年の4部降格は、100%これらを管理、指導出来なかった監督の責任です。この場をお借りして、ご支援いただいたおりに、心からお詫び申し上げます。来年度は、監督の職を賭して即3部復帰いたします。2008年10月の入れ替え戦にも多くの先輩方の声援をお待ちしております。

昨年引き続き、今年もまた、昇格のチャンスが訪れました。昨年、三部に昇格した瞬間には、想像もしていなかった結果に、正直、驚きと嬉しさでいっぱいでした。何となく、このチャンスを活かしたい、勢いに乗って昇格したいと思っておりました。しかし結果は、大敗でした。選手を始め、部員一同、本当によくがんばったと思いますが、練習はもろろん、それ以外での努力が、まだまだ足りなかつたのではないかと感じております。二部校との対抗戦が十分に出来なかつたこと、そのために、相手の情報が十分でなかつたことなども、要因の一つだと思います。常に上を目指し、上を意識する、という姿勢が足りなかつたのではないかと感じております。そのような指導を十分に出来なかつた、監督としての責任を痛感しております。また、今年、私事で、殆どコートにも行くことができず、大変申し訳なく思っております。今年感じたことを、来年へつなげ、来年こそは、二部に昇格出来るよう、努めてまいります。また、今年から始まりました、今年から始まりました、自由選抜入試では、女子部への入部者は、わずかに一名という結果でした。二部昇格、そして一部復活の為に、来年以降、アスリート選抜入試を成功させるよう、努めてまいります。今度、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。最後に、今年度のリーグ戦でも、大勢の方々に応援に駆けつけて戴きました。心よりお礼を申し上げます。また来年もよろしくお祈り致します。

第十二回総会 開かれる

去る六月二十三日(土)セントポールテニスクラブ第十二回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席を頂き池袋キャンパスの第一食堂にて開催されました。会計報告・予算・事業計画など慎重な審議が行なわれました。総会後は現役幹部を交え和やかな懇親会が開かれました。

以下に総会の決定事項をご報告いたします。

「会長挨拶」

S 37年卒 小西 一三

セントポールテニスクラブ会員の皆様、この一年間大学テニス部に絶大なご支援・ご指導をいただきまして誠にありがとうございました。

学生の第一目標はリーグ戦で勝利をおさめ、一つ上のクラスに上がることです。OB、OGの激励を受けて平日は技術向上を目指し、自分たちにあった練習方法を取り入れ、汗にまみれて努力し、休祭日には他校との練習試合に臨み試合方法、試合運びの研究に情熱を燃やしています。

今年のリーグ戦は新旧交代もあり思うように試合運びが行かず、男子は4部に降格、女子は3部現状維持となりました。

今の立教大学テニス部は目先のことであり現在の部員で基礎をみっちり鍛えれば必ず道は開けると確認します。《好きで

あなたたちならできる

今申し上げたことを実現するには、監督、コーチの情熱と両部長先生のご理解、ご協力並びに、OB、OG会員諸先輩の皆様のご心温まる応援、激励が一番だと思います。もうすぐ新しい年を迎えますが会員皆様には明るく、楽しく、元気に、迎えていただき平成20年もご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

「理事長挨拶」

S 54年卒 原田 豊

OB・OGの皆様、お元気にお過ごしのことと喜び申し上げます。

本年は、体育会にとりまして「変革の年」と言える大きな出来事がありました。一つは体育会活性化のための経済支援政策の実施です。これは「活性化プロジェクト計画」を提出し選考委員会で審査され採択されれば選考された各部に総額一億円が支援・交付されるという制度です。

テニス部も役員の皆様懸命なご努力でこの奨励金を受けるべく努めました。残念ながら今

入ったテニス部だもの最後までやり遂げよう。先日、ある高校の先生と自高の練習を見ながらこの選手たち4年間あったらどれだけ上達するんだらうと夢の話が弾んだ。大学は4年間あるので目標を立て、無から努力してダイヤモンドに変身してほしい。

二つ目は、アスリート選抜入試制度の実施です。これは、運動能力の高い高校生(全国大会等で優れた戦績を残した生徒)に対し門戸を広げ入学させ体育会各部をリードしてもらおうという制度です。スポーツ推薦制度ではありませんが従来の自由選抜入試と比較してよりテニス戦績の高い高校生の入学が可能になりました。本年度はこの制度により男子二名・女子一名の入学が既に決定しております(必ずテニス部に入ります)。引き続き来年からも早期に勧誘を始めこの制度の有効利用を考えて行きます。

さて、本年度リーグ戦は男女とも残念な結果となりました。男子は3部5位となり4部との入替で東農大に敗れ4部降格、一方女子は3部2位と健闘し2部との入替に臨みましたが、こちらも東農大に敗れ2部復帰は果たせませんでした。そんな中本年度インカレには男女ともに出場でき、男子ダブルスでは佐藤・林組がベスト16に入る活躍を見せてくれました。これを機会に個人戦でのレベルアップにも力を注ぎそこから全体のレベルが上がる事に期待したいと思います。

最後のになりましたが、前述した大学側の様々な新しい施策に対しそれを十分に理解しまた利用し

今後のテニス部の発展に繋げていければと思っております。OB・OGの皆様にも引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

女子部50周年に向けて

S 36年卒 野田 昌子
S 36年卒 八木下紗繪子

今年も押し迫ってまいりました。皆様如何お過ごしでしょうか。

来年(2008年)女子部創立50周年を迎える事となりました。当時はこんなに永い年月存続出来るなどと考えてもおりませんでした。

平成8年に男子部と合併し私共女子部だけでは到底出来ない一芸入試制度による選手確保のための勧誘等全国を駆けめぐってOBの方々がご尽力下さり現在に到っております。

地方にお住居の方々、現役強化のため情報を提供して頂けたら幸いです。

さて50周年の集いを6月頃開催予定としております。詳しく決まりました。皆様にご連絡致します。遠方にお住居の方々もこの機会に是非再会いたしたく一人でも多くの方々のご理解とご参加を切に願って50年の歩みを語りたく思っております。



平成19年度役員

氏名	卒年	
会長 小西 一三	37	
副会長 川上 浩子	40	
副会長 出口 誠之	42	
副会長 林田 千史	43	
副会長 浅見 豊	49	
顧問 伊沢 和平		テニス部 部長(新任)
顧問 舟田 正之		副部長
理事長 原田 豊	54	
副理事長 吉川 裕子	52	
副理事長 井上 勇人	58	会計
理事 倉光 哲明	42	
理事 原田 正	42	
理事 鈴木 典之	52	
理事 加倉 井理	54	
理事 山永 節子	55	
理事 山下 子之	60	副会計
理事 藤原 誠之	60	総務
理事 武市 広治	H1	男子部監督(新任)
理事 白寄 誠爾	H2	副総務
理事 小田 真義	H3	
理事 阿谷 美幸	H9	女子部監督
理事 山野 幸子	H11	
理事 吉井 悠子	H14	
理事 吉井 悠子	H16	
監事 八木下 紗繪子	36	
監事 梅田 憲司	50	
コーチ		
男子部担当 山田 昇	H2	(再任)
男子部担当 宇賀 神直	H15	(新任)
男子部担当 五味 晃一	H19	(新任)
女子部担当 清 隆一郎	63	
女子部担当 嶋 中 暁子	H11	
女子部担当 柏木 二三子	H14	
女子部担当 吉井 悠子	H16	

平成19年度事業計画書

(自平成19年4月1日～至平成20年3月31日)

日	内容
4月12日	第1回100周年準備委員会(セントポールズ会館)
4月15日	中・高・大 レギュラー練習会(立教池袋中・高テニスコート)
5月9日	第1回理事会(セントポールズ会館)
5月31日	第1回アスリート選抜入試セレク会議(セントポールズ会館)
6月9日	関東高校選手勧誘視察(埼玉県・大宮)
6月23日	第12回定期総会(第一学食)
6月24日	中・高・大 レギュラー練習会(立教池袋中・高テニスコート)
6月	会員名簿 発行
7月5日	第2回アスリート選抜入試セレク会議(セントポールズ会館)
7月25日	第2回理事会(セントポールズ会館)
8月2日	インターハイ選手勧誘視察(佐賀県)
9月	リーグ戦激励会
10月	第3回理事会(セントポールズ会館)
10月	第2回100周年準備委員会(セントポールズ会館)
10月	中・高・大 レギュラー練習会(立教池袋または新座中・高テニスコート)
11月	大学教職員とのテニス懇親会(新座キャンパステニスコート)
11月23日	小・中・高・大 合同練習会(立教池袋中・高テニスコート)
12月2日	All Rikkyo Tennis 発行
12月2日	納会(第一学食)

平成19年度会計予算

(自平成19年4月1日～至平成20年3月31日)

科目	予算額	摘要
1. 年会費	2,500,000	10,000×201 7,000×70
2. 総会 納会 会費収入	900,000	総会 納会 激励会出席者会費
3. 雑収入	600,000	寄付金 広告費 受取利息等
当期収入合計	4,000,000	
前期より繰越金	109,405	
収入合計	4,109,405	

科目	予算額	摘要
1. 現役強化費	2,150,000	
①ボール代	(500,000)	
②合宿援助	(400,000)	男子部 200,000 女子部 200,000
③コート維持費	(50,000)	砂代他
④勧誘費	(500,000)	インターハイ(佐賀)視察等
⑤その他	(700,000)	監督費、レギュラーバレー費、エントリー補助費
2. 会合費	800,000	総会 納会 激励会費
3. 通信費	400,000	案内通知等
4. 名簿、ART作成費	250,000	名簿、ART作成費
5. 諸会費	40,000	OBクラブ 監督部長会 合同練習会等
6. 雑費	50,000	コピー代 封筒代 文具代等
7. 手数料	50,000	年会費自動振替手数料 振込料
8. 100周年準備委員会	100,000	100周年準備費
9. 予備費	100,000	その他不足分補助 慶弔費
当期支出合計	3,940,000	
次年度繰越金	169,405	

平成18年度事業報告書

(自平成18年4月1日～至平成19年3月31日)

日	内容
4月18日	第1回100周年準備委員会(セントポールズ会館)
5月10日	第1回理事会(セントポールズ会館)
6月3日	関東高校選手勧誘視察(千葉県・白子)
6月17日	第11回定期総会(ウリアムズホール 山小屋)
6月22日	第2回100周年準備委員会(セントポールズ会館)
7月19日	第2回理事会(ふじだ)
8月2日	インターハイ選手勧誘視察(兵庫県・神戸)
9月2日	リーグ戦激励会(中華料理・永利)
10月3日	第3回100周年準備委員会(セントポールズ会館)
10月18日	第3回理事会(セントポールズ会館)
11月4日	女子部三部昇格祝勝会(ディーンアンドデルーカ)
11月12日	大学教職員とのテニス懇親会(新座キャンパステニスコート)
11月23日	小・中・高・大 合同練習会(立教池袋中・高テニスコート)
12月10日	All Rikkyo Tennis 発行
12月10日	納会(第一学食)
1月25日	第4回100周年準備委員会(セントポールズ会館)
2月18日	中・高・大 レギュラー練習会(立教池袋中・高テニスコート)
2月22日	第4回理事会(セントポールズ会館)

平成18年度決算報告書

(自平成18年4月1日～至平成19年3月31日)

科目	予算額	決算額	摘要
1. 年会費	2,600,000	2,335,000	10,000×188 7,000×65
2. 総会 納会 会費収入	700,000	881,000	総会 納会 激励会出席者会費
3. 雑収入	800,000	714,828	寄付金 広告費 受取利息 他
当期収入合計	4,100,000	3,930,828	
前期より繰越金	436,589	436,589	
収入合計	4,536,589	4,367,417	

科目	予算額	決算額	摘要
1. 現役強化費	2,450,000	2,063,137	
①ボール代	(700,000)	(476,280)	
②合宿援助	(400,000)	(400,000)	男子部 200,000 女子部 200,000
③コート維持費	(50,000)	0	砂代
④勧誘費	(400,000)	(550,156)	インターハイ(神戸)視察等
⑤その他	(900,000)	(636,701)	監督費、レギュラーバレー費、エントリー補助
2. 会合費	900,000	1,289,298	総会・納会・リーグ戦激励会費用等
3. 通信費	400,000	452,195	案内通知 等
4. ART作成費	250,000	100,000	名簿、ART 作成費
5. 諸会費	40,000	36,000	OBクラブ分担金等
6. 雑費	50,000	68,538	コピー代 封筒代 文具代等
7. 手数料	50,000	78,330	自動振替手数料 振込料
8. 100周年準備委員会	100,000	150,514	立教100周年準備費
9. 予備費	100,000	20,000	その他不足分補助慶弔費
当期支出合計	4,340,000	4,258,012	
次年度繰越金	196,589	109,405	

科目	金額	摘要
流動資産		
現金	33,831	
普通預金	75,574	
小計	109,405	
固定資産		
定期預金	401,313	
資産合計	510,718	



男子 平成19年度 3部リーグ戦結果

	上武	立教	千葉商科	日本体育	明海	順天堂	勝敗	順位
上武大学	-	8-1	6-3	8-1	9-0	7-2	5勝	1
立教大学	1-8	-	1-8	4-5	9-0	5-4	2勝3敗	5
千葉商科大学	3-6	8-1	-	6-3	9-0	9-0	4勝1敗	4
日本体育大学	1-8	5-4	3-6	-	9-0	3-6	2勝3敗	2
明海大学	0-9	0-9	0-9	0-9	-	0-9	5敗	6
順天堂大学	2-7	4-5	0-9	6-3	9-0	-	2勝3敗	3

入れ替え戦 立教大学 2-5(打ち切り) 東京農業大学

女子 平成19年度 3部リーグ戦結果

	学習院	明海	関東学院	聖心女子	駒澤	立教	勝敗	順位
学習院大学	-	7-0	4-3	6-1	1-6	2-5	3勝2敗	3
明海大学	0-7	-	0-7	0-7	0-7	1-6	5敗	6
関東学院大学	3-4	7-0	-	5-2	0-7	0-7	2勝3敗	4
聖心女子大学	1-6	7-0	2-5	-	0-7	0-7	1勝4敗	5
駒澤大学	6-1	7-0	7-0	7-0	-	6-1	5勝	1
立教大学	5-2	6-1	7-0	7-0	1-6	-	4勝1敗	2

入れ替え戦 立教大学 2-5 東京農業大学



平成19年度リーグ戦結果

この立教大学体育会テニス部で活動できたことを誇りに思います。四年間本当にお世話になりました。

この体育会に入部して、つらいことを耐え抜く忍耐力や組織の中で動くことの難しさ、仲間達の大切さなど多くのことを学びました。これから社会に飛び出していくなかで、ここで学んだことを発揮し、活躍していきたいと思えます。

今年度は昨年までのレギュラーが引退し、戦力ダウンを余儀なくされました。そのような中、個性あふれる部員達と一つの目標を共有し、勝つための目標を定め、試行錯誤して努力してきた体験は一生の宝となるでしょう。頭を悩ませてくれた部員も出来事も今ではいい思い出です。そのような部員達と臨んだ今年のリーグでは結果を出せず、主将としての責任を痛感しております。来年、すぐに彼らが結果を出せるよう、協力していきたく思います。

この一年間、最高の仲間達と過ごすことができました。今年度は昨年までのレギュラーが引退し、戦力ダウンを余儀なくされました。そのような中、個性あふれる部員達と一つの目標を共有し、勝つための目標を定め、試行錯誤して努力してきた体験は一生の宝となるでしょう。頭を悩ませてくれた部員も出来事も今ではいい思い出です。そのような部員達と臨んだ今年のリーグでは結果を出せず、主将としての責任を痛感しております。来年、すぐに彼らが結果を出せるよう、協力していきたく思います。



男子主将 佐藤 智哉

最後に悔しい思いをいたしました。十月八日、東京農業大学との入れ替え戦で二部昇格という目標を前に敗戦してしまいました。僅差だっただけに改めて結果を見たとき、私の単復さえ取ってしまえば、と何回も考えていました。この悔しさをもっと現役として晴らすことができないかと思いつくと、少し悲しく思いますが、それでも、最後に負けたことが、私の今までのテニスにかけてきた思いではないかと思えます。思えば立教大学テニス部で過ごした四年間、本当に多くの経験をしました。リーグ戦では一年のときから出場させて頂き、試合に第一戦は忘れもしない東京農業大学に0対7という大差での負けからスタートし、その年は四部へ降格してしまいました。私にはこのときの悔しさを今この入れ替え戦でリベンジしたいと思っております。最後に残念です。この責任の重大さを感ぜました。部活内での問題に對し、常にどうするかを今この部活を考えた上で一番良いのかを考えていることが毎日でした。大変なことも多くありましたが、それが私には最後の経験に恵まれ、最後のリーグ戦は最高に楽しかったです。本当に良い経験だったと思います。また、最後の年は目標であった、最終カレに単復出場することができ、今まで私の周りの色々な支えがあった結果だと思っております。最後に申し上げますが、監督、コーチをはじめ、OB、OGの方々の支援なくして私はこのような経験をするのはできなかったと思います。本当に四年間ありがとうございました。

最後に悔しい思いをいたしました。十月八日、東京農業大学との入れ替え戦で二部昇格という目標を前に敗戦してしまいました。僅差だっただけに改めて結果を見たとき、私の単復さえ取ってしまえば、と何回も考えていました。この悔しさをもっと現役として晴らすことができないかと思いつくと、少し悲しく思いますが、それでも、最後に負けたことが、私の今までのテニスにかけてきた思いではないかと思えます。思えば立教大学テニス部で過ごした四年間、本当に多くの経験をしました。リーグ戦では一年のときから出場させて頂き、試合に第一戦は忘れもしない東京農業大学に0対7という大差での負けからスタートし、その年は四部へ降格してしまいました。私にはこのときの悔しさを今この入れ替え戦でリベンジしたいと思っております。最後に残念です。この責任の重大さを感ぜました。部活内での問題に對し、常にどうするかを今この部活を考えた上で一番良いのかを考えていることが毎日でした。大変なことも多くありましたが、それが私には最後の経験に恵まれ、最後のリーグ戦は最高に楽しかったです。本当に良い経験だったと思います。また、最後の年は目標であった、最終カレに単復出場することができ、今まで私の周りの色々な支えがあった結果だと思っております。最後に申し上げますが、監督、コーチをはじめ、OB、OGの方々の支援なくして私はこのような経験をするのはできなかったと思います。本当に四年間ありがとうございました。

今、私の文を読んでも下さっている皆様に伝えたこと、それは「感謝」です。リーグ戦は残念な結果に終わってしまいました。けれど、テニス部に入らなければよかった、とは思いません。むしろ、テニス部においてよかった、と胸を張って言うことができず。テニス部で過ごした日々は全て意味あるものであり、仲間とあるに過ぎない時間、大学生活の最高の思い出であり、私の誇りです。主務とテニスの両立に苦勞し、忙しい日々でしたが、私にしか経験できない非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今、私の文を読んでも下さっている皆様に伝えたこと、それは「感謝」です。リーグ戦は残念な結果に終わってしまいました。けれど、テニス部に入らなければよかった、とは思いません。むしろ、テニス部においてよかった、と胸を張って言うことができず。テニス部で過ごした日々は全て意味あるものであり、仲間とあるに過ぎない時間、大学生活の最高の思い出であり、私の誇りです。主務とテニスの両立に苦勞し、忙しい日々でしたが、私にしか経験できない非常に有意義な時間を過ごすことができました。



女子主将 戸澤 夕葵

これは全て周りの環境のおかげです。活動をサポートしてくれてくれた両親、私を快く迎えてくださった先輩方、同期、後輩。常に私を見てくださり、叱咤し、励ましてくれたOB・OGの方々に心の底からお礼を申し上げます。感謝の気持ちを伝えたいと感じております。私を取り巻く環境、テニスを通じて出会った人々、何か一つでも欠けていたらこれほどの充実感を得ることができなかったでしょう。これから先はひとりのOBとして、先輩方同様、一杯のサポートをしていく所存です。長いようであつという間の現役生活でしたが、今まで本当にありがとうございました。

これは全て周りの環境のおかげです。活動をサポートしてくれてくれた両親、私を快く迎えてくださった先輩方、同期、後輩。常に私を見てくださり、叱咤し、励ましてくれたOB・OGの方々に心の底からお礼を申し上げます。感謝の気持ちを伝えたいと感じております。私を取り巻く環境、テニスを通じて出会った人々、何か一つでも欠けていたらこれほどの充実感を得ることができなかったでしょう。これから先はひとりのOBとして、先輩方同様、一杯のサポートをしていく所存です。長いようであつという間の現役生活でしたが、今まで本当にありがとうございました。

前年度主務を務めさせていただきました。文学部心理学科四年松本奈穂子です。前回の原稿を書き、幹部となったからという一年は本当にあつたという間、早いもので、引退を迎えることとなりました。今までのテニス部生活、今までの仲間たち、今までのOB・OGの方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。テニス部で過ごした日々は全て意味あるものであり、仲間とあるに過ぎない時間、大学生活の最高の思い出であり、私の誇りです。主務とテニスの両立に苦勞し、忙しい日々でしたが、私にしか経験できない非常に有意義な時間を過ごすことができました。

前年度主務を務めさせていただきました。文学部心理学科四年松本奈穂子です。前回の原稿を書き、幹部となったからという一年は本当にあつたという間、早いもので、引退を迎えることとなりました。今までのテニス部生活、今までの仲間たち、今までのOB・OGの方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。テニス部で過ごした日々は全て意味あるものであり、仲間とあるに過ぎない時間、大学生活の最高の思い出であり、私の誇りです。主務とテニスの両立に苦勞し、忙しい日々でしたが、私にしか経験できない非常に有意義な時間を過ごすことができました。



男子主務 高橋 真也

本年度主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

本年度主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

本年度主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

本年度主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



女子主務 松本 奈穂子

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



男子主将 田村 浩紀

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

この度、主務を務めさせていただきます。経済学部経済学科三年、塚田です。よろしくお願いたします。今年のリーグ戦は、二部への入れ替え戦に懸かっただけで昇格することができず、四部降格という結果に終わりました。入れ替え戦に負けた時は、なんと四年生に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。悔しい思いは一度で十分です。来年は、必ず三部に戻ります。戦力としては、今年からできたアスリート選抜のおかげもあり充実したものにしたいと思います。ただ、メンバーの力が離れすぎていることが問題として挙げられるため、この技術を上げることは、あらゆるチーム全体の技術の底上げを図ります。そのための練習メニューやトレーニング方法も監督やOBの方々の協力も仰ぎ、チーム内でも最善の方法を模索しながら実践し始めました。また今年度は去年以上にチーム内でのミーティングの回数を増やすつもりです。その意図は、部員全員が理解し、より高いモチベーションを維持することができると同時に、意思の疎通がしやすくなりチームとしての結束が高まることを目指しています。新しいチームになり、日々の練習が、これからの一年間、確実に力を充実させ、来年は必ず三部に昇格します。OB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



女子主将 塚田 晶子



1年 大端 大

静岡県立浜松南高校出身、文学部文学科英米文学専修の大端大です。私は、中学からテニスを始め、高校でもテニス部に所属していました。しかし、高校の時は明確な目標も持たず、ただなんとなくテニスをやっていただけで、そして、約二年の部活を終えたところで、自分の不完全燃焼さに気づきました。納得いく結果を出せず、自分の実力に満足していたわけでもないのに、大した努力もしていなかった自分を、今は悔やんでいます。大学で体育会テニス部に入ったのは、このままテニスを離れたら絶対後悔したままだろうと思ったからです。大学で自分を競技者という立場におくことによつて、高校の時に出来なかった目標に向かって一杯努力をするということ、そしてそれを達成するということを信念として貫き、後悔なく引退できればいいなと思っています。具体的目標としては、単複関東学生以上としてインカレ出場です。幸い仲間にも恵まれたので、同じ志を持った強い仲間達と、切磋琢磨して目標を叶えたいです。また、チームの目標としては、一部昇格を目標としています。毎年昇格していき、私たちが四年生の頃に一部に上がることができ、生半可な覚悟や努力では達成できない大きな目標であることは承知していますが、仲間たちとともに、達成してみたいと思います。私が目標に向かって努力できるのも、偏にOB・OGの方々のおかげです。今後ともご指導、ご鞭撻のほどを宜しくお願いします。



1年 緒形 昌輝

私立柳川高等学校出身、現代心理学部心理学科一年の緒形昌輝です。私は、幼い頃両親の影響を受けテニスを始めました。その後、様々なスポーツを経験し、改めて自分にとってテニスがあることに気づきました。好きなテニスで自分に挑戦したいと思い、伝統校の柳川高校に進学しました。結局、高校では思い描いた通りの結果を残すことができなかったのですが、もう一度新たな環境で素直にテニスと向き合いたいと思い、体育会テニス部に入学しました。大学では、主体的に練習を考えて実践していく時間が増えた分、選択肢が多すぎて今何を自分がやらなければならぬのか揺らいでしまう時が多々あります。分からない未来にどうしようもなく不安になってしまふ時さえあります。そのような時には、OB・OGの皆様や先輩方が優しく導いてくださいます。私が先輩になつた時には自分だけでなく後輩も労れるような大きい人間になりたいです。今年のリーグ戦では初戦で怪我をすることでチームの足を引っ張ってしまいました。その悔しさを忘れずに更に上のステージで戦えるようにすぐ三部に戻りたいです。最後にありますが、今日練習や試合ができていくことはOB・OGのご支援があつてこそということをお頭に置き、日々の練習に励みたいと思います。今後とも宜しくお願いします。



1年 神田 堅太

文学部史学科一年神田堅太です。私は小学校四年からテニスを始め、大学では趣味程度で続けていこうと思つていました。しかし、高校の友人達からの強い勧めを受け競技者としてテニスに打ち込みたいという気持ちで、強くなり入部を決心しました。今まで練習や試合を重ねてきたことで、高校と大学のレベルやモチベーションの違いを認識したと共に様々なことを経験することができました。特にリーグに出場したことは、僕にとつて学校を代表して戦うことの責任の重さと充実感を感じさせる非常に貴重な経験となりました。これからは、リーグで勝つことができなかった悔しさを忘れずさらなるトレーニングに励んでいきたいと思つています。また、試合経験を積むためにオープン大会にも積極的に出場し、勝負強さも養つていきたいと考えています。そして個人戦では、単複ともに関東学生本選、インカレ出場を狙い、団体では立教大学の三部復帰の原動力としてどんな相手にも勝つことができない選手になることを目標に頑張つていきます。また、このように私達が積極的にオープン大会に出て行くのは、OB、OGの皆様の支援の賜物であり、感謝しております。



1年 菊池 大輔

文学部文学科フランス文学専修一年菊池大輔です。私は大学受験に失敗し、第一志望・第二志望の大学に落ちてしまいました。大学では勉強を中心に置いた生活を考へており、テニスを続けるつもりはありませんでした。しかし、やりたい勉強が専門に出来なくなつた私に、「わざわざテニスを我慢する必要はない。やりたことを思いっきり大学で、やってみなさい。」と、両親からの応援を受け、テニス部に入ることを決意しました。入学して以来、ずっと悩み続けてきたのが、圧倒的な経験の差でした。高校からテニスを始めた私にとっては、練習についていくだけでも大変でした。しかし、今となつてはこの高いレベルで練習できる現状に感謝し、また着実に実力が伸びているのが実感できて嬉しく思っています。対抗戦などの試合も経験させて頂き、テニスに対する思いも益々強くなつてきました。このテニス部での数年間を通して、関東学生になんとしてもなれるように努力します。私は誰よりも努力家になれる自信があります。一生懸命さでは絶対に負けません。また、勉強でも妥協を許さず、全てのことについて取り組んでいきたいと思つています。OB・OGの方々には、いつもあたたいご支援をして頂き、ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いします。



1年 佐々木 文博

埼玉県私立川越東高校出身、コミュニケーション政策学科一年の佐々木文博です。私は大学からテニスを始めました。私がテニス部に入った理由は高校時代はサッカー部に所属していたのでサッカークラブに入ろうと思つていましたが、サッカー部は週に六回も練習があり、しかもその練習のほとんどが富士見で行われているので、サッカークラブに入るのはやめようと思つた。この部活に入るうかた、以前から多少興味があつたテニス部を調べてみると、週四回の練習で主な活動場所が新座とあつたのでテニス部に入るうと思つた。入学当初は練習の厳しさや先輩や同期の技術に驚かされ、体力的にもついていけなかった。この部活で四年間続けていくことができるのかという不安を感じながら部活に取り組んでいました。途中で何度もやめようかと思つていましたが、先輩や同期の協力や励ましなどがあつたため、今でも部活を続けることができています。おかげで、今は入学当初と比べて成長を実感できています。それはこの素晴らしい環境があつてこそのもので、この環境はOB・OGの方々の協力のおかげです。私たちがそのことに感謝しつつ、期待にこたえられるように頑張つていきたいと思つているので、これからも御支援と御指導のほどよろしくお願いします。



1年 環 卓信

埼玉県私立立教新座高校出身、法学部法学科一年の環卓信です。私は大学からテニスを始めました。最初はテニスサークルに入つていたのですが、飲み会が頻繁にあり、お酒が弱い私にはつらく、また人数が多いためあまり球を打つことができませんでした。そんな時テニス部に同期の知り合いがおり、テニス部に参加させてもらうことにしました。練習に参加し、サークルの人達とは比べものにならないほど上手で、初心者である私に優しく、初心者を倒すのが上手で、初めから上手な人が多く、この部活には正直感動するうと感じました。しかし、テニス部には大学からテニスを始めた人が多く、やる気さえあればついていけるという話を聞き、また何より自分がかたく、上手になりたかつたのでテニス部を決意しました。このサークルには全くの初心者から一年生の挨拶、態度から一年生のやらなければならぬ仕事など覚えることが沢山あり、正直最初は大変でしたが、入学してまだ数週間ですが、ようやく仕事なども慣れてきた感じがしました。テニスの技術面でも先輩方や同期の人達が丁寧に指導してくるため、少しずつ打てるうになりました。これからもう少し練習して、他の部員の人達に近づきたいと思つています。私がおかしいと思つているのはOBやOGの方々の御支援、ご指導のほどよろしくお願いします。



1年 益田 宏樹

私は宮崎県宮崎西高等学校出身、コミュニケーション福祉学科一年の益田宏樹です。私は幼少の頃からテニスをしており、高校の頃は、一年から一番手という役目を任せられ、日々練習に励んでいました。また、高校三年は、主将を務め、チーム一人一人の事を第一に考え、どうしたら強くになれるのか、また進学校なので、少ない練習時間の中で、どのような練習したらチームの和が向上し、またどのよう精神力がつかうかなどを考えた。日々部活を行つていきました。その結果、全国選抜とインターハイに団体で出場することができました。私は高校で培った技術や精神力を活かしたく、入部を決意しました。入学当初は、高校とは違う大学の部活に不安などがありました。しかし、先輩方のアドバイスや支えによって、集中してテニスに打ち込めるうになりました。リーグではシングルスとダブルス両方に出場させていただき、満足いく結果を残せず悔しい思いをしました。この思いを忘れず、私は日々練習やトレーニングに努め、三部昇格という目標に向かって努力しようと考えています。また、私たちが日々素晴らしい環境の中でテニスが行えるのも、OBやOGの方々の支援のおかげです。これからも日々鍛錬を怠らず、精一杯努力してまいりますので、御支援と御指導のほどよろしくお願いします。



1年 米津 吉晃

愛知県私立名古屋高等学校出身、経済学部経済学科一年の米津吉晃です。私が、テニスを始めたのは中学二年のときです。中学ではテニススクールに通い、高校ではテニス部に入り毎日練習に励んでいました。全国高校選抜大会(団体)に出場しベスト16という成績でしたが決して満足する結果ではありませんでした。この悔しさから、立教大学体育会テニス部で頑張つていこうと決心しました。大学に入り、今年初めてリーグというものを経験しました。対抗戦とは違う空気がコートにあり、今まで感じたことがありませんでした。私は、選手として出させてもらい、リーグで一勝をするのがいかに大変なのかを知りました。私は、全試合出場しましたが、一勝もあげることができず四部に落ちています。この悔しさを必ず来年に生かして三部に昇格したいです。来年に向けて一杯頑張りたいです。悔いの残らないようにします。立教大学のような素晴らしい環境でテニスができるのはOB・OGの方々の支援があるおかげです。これからもチーム一丸となつて来年には三部昇格、再来年には二部昇格を目指して頑張りたいと思つていますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願ひ致します。



1年 松本 綾子

経営学部経営学科一年
松本綾子です。

私は、幼少期にテニスを始め、何度もテニスをやめました。多くの人に支えられ、テニスを続けることができました。高校でも、テニススクールを中心に本格的にテニスを始めましたが、最後にいい結果で終わることができず、大学ではもうテニスをやめようと考えていました。友人からの強い勧めもあり、立教大学体育会テニス部でテニスをすることを決めました。高校では部活があまりしつかりして、あまり良い環境でテニスをすることはできなかったのですが、OB・OGの方々のご尽力により、良好なコート環境、素晴らしいコーチの方々に恵まれてテニスをできることに日々感謝しながら練習に励みたいと思います。また、高校では仲間にも恵まれず、団体戦では上のレベルの人と戦うことができなかったのですが、今回リーグ戦に出場することができ、団体戦の楽しさや1ポイントの大切さ、団体戦という舞台での新たなテニスの楽しさを学ぶことができ、とてもいい経験です。入替戦では、負けてしまい、昇格できず、とても悔しい思いをしたので、この思いを胸に刻み、来年は勝利、そして昇格に貢献できるように日々練習に励んでいきますので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



1年 横山 由貴

文学部キリスト教学科
一年横山由貴です。よろしくお願いたします。

私は中学からテニスを始め、中学・高校とテニス部に所属していましたが、飽きやすかった私が、はじめて一所懸命に練習して取り組めたのがテニスでした。私はテニスを通じて色々なことを学びました。大学に入っても自分自身を成長させたいと思い、立教大学の体育会テニス部に入ることを決意しました。入部をした当初、先輩方のレベルの高さと、はじめての仕事に驚き戸惑いました。また一年生は私一人で、このままやっていけるのかと、とても不安でした。しかし先輩方に温かく接していただき、その不安はすぐに解消されました。リーグ戦を経験し、私はリーグ戦の大切さと厳しさを学びました。選手をサポートすることができ、頑張っている先輩方や同期を見てとても感動し、自分も強くなり選手としてその場に出たいと思えました。また、たくさんのOB・OGの方々の熱い思いを実感しました。私たちがテニスを当たり前のようにすることが出来るのは、OB・OGの方々の多大なるご尽力のおかげです。今後とも、OB・OGの方々の感謝を忘れずに二部昇格に向けて頑張っていきたいと思っております。

「卒業後57年」

S25年卒 山本 実

今回原田理事長より(A.R.T.)に何か文を御依頼を受け正直困惑致しました。永い営業生活で喋る事はあっても書くこと云う事はあまり経験はないからです。書くことすれば永く生を受けた関係で古い思い出しかありません。諸兄弟の御参考になればと筆を執りました。私が立教大学に入校したのは終戦の昭和20年です。その年の八月十五日に終戦となりました。終戦当時の大学の様子はあまり記憶にないのですが半年位経ちばちち運動部の生徒が運動部の活動が活発となり勧誘が激しくなりました。当時の運動部の花形は野球、水泳、アイスホッケー、ラグビー、バスケット、馬術部等でした。どの様なきっかけで硬式テニス部に入ったのか不明ですが同級の土屋君と一緒に入部しました。主将桜井先輩、主務石井美代治先輩でした。部員は四十名位、当時のコートは現在の立教小学校の土地にあり四面クレイコートで前は雑草でボールを探るのが一苦労。一年位ボールポイをさせられました。又冬は霜防止のムシロ敷き、翌日練習前にムシロを取りローラー掛けライン引きと全然ボールは打たして呉れませんでした。又冬が来ると霜で滑り

OB・OGの声

たコートを掘り返し荒木田という粘土と苦汁(ニガリ)を入れコート作りをしてローラー掛け。何の為にテニス部に入ったのか判らない状態でした。皆が退部して行くのも納得した次第です。その間ラケットの素振りだけだったと記憶してあります。一年あまり経って漸くコートでボールを打つ事が出来た時の喜びとテニスのむずかしさに戸惑ったものです。その当時は物資不足で運動靴は配給で半年に一回位。皆すり切れた靴でハダシ同然でテニスをしていた。足の皮が厚くなった事を憶えています。ラケットは木の張り合せ、ガットは上物は羊腸、下物は牛腸、湿気に弱くぬれると切れてしまいましたがナイロンが出てきたのは昭和四四年、五年頃と記憶してあります。当時は張り替えから修理は全部自分達でやっていたものです。昭和廿三年頃立教小学校を建てたのが、理学部の裏にコートが移り四面半(一面はシングル用)の周囲は全網のネットが囲まれた立派なテニス場が出来上がりました。コート開きには司祭が十字架を持ち合唱隊が讃美歌を歌い各コート廻り祈って呉れました。吾々が作ったコートだという実感と、よしこれからやってみようぞと云う気が起こったあの日の感激は今でもはっきりと憶えています。まだまだ書きたい思いが沢山ありますが紙面が足りません。たとえば部費稼ぎのダンスパーティーを主催したり又、大和運輸とか進駐軍の手伝い、エビスビル等のアルバイトでの部費稼ぎ等話しが尽きません。又の機会にしたいと思えます。昔は物がなくすべて条件が悪かったですがそれが逆に皆一生懸命テニスに夢中になり、良い学校生活を過ごしたと思えます。恵まれた環境でテニスをされる諸兄弟にとつては良い様で逆には羨ましい面があるのではないのでしょうか。最新型のラケット、ボール、全天候型テニスコートと恵まれ過ぎる為、スピードUPされ更なる高度な技術が要求されるからです。私は立教大学の硬式テニス部員であった事を誇りに思っています。一つの事を学校生活の中でやり通した事が一つの自信となり、社会に出て大いに役立って居ります。後輩の諸兄弟、一回しかない大学生活です。どうか悔いのない生活をして少しでも上に行く努力をして下さい。健闘を心よりお祈りします。拙文をお許し下さい。

振り返ってみて 「ありがとう」

S42年卒 豊田 資朗

立教でテニスをしてきたおかげで、社会人になってからも、テニスに繋がる事が多くの方に会える事ができ、自分自身人間を形づくっているのだなと思えます。人と

出会い、人と交わり、他人とのかわりや影響をうけ、自分を大きくするのだと思えます。だとしたら自分という人間をより善くしよう、自分の人生をより好いものにしようという人間関係で心がけなければならぬことがあり、自分より優れた人、自分より立派な人との出会いを大切にしていきたいです。私は多くの先輩と出会って、学ぶことができた原因はテニスであり、「テニスに会えてありがとう」と言わずにはおれません。このごろ感じる事の一つに、「日常会話の中で「ありがとう」という当たり前のことが忘れられていくように思えます。自由主義思想を取り違えた戦後教育によって、道徳観や宗教観を排除し合理主義を優先し、拜金主義に走り、物事にたいする「感謝」が薄らいできている世の中になっていきます。日常会話の中でも「お願ひします」「ありがとうございます」は少なく、「ありがとう」は一言で和み、救われた人がどれほど多いことでしょうか。また感謝を提示する機会を考えるかも知れません。ギクシャクした関係も勇気をだして「ありがとう」といえば案外良い方向に向かうかも知れません。身近なことでは「今日の夕食はおいしかったですね。ありがとう」と言える男性はほとんどいないと思えます。ゴルフ終了後キャディさんに「きょうはありがとうございました」と言っている

限界に勝て

H2年卒 東樹 秀明

社会人になってからは17年が経ち、立教大学体育会庭球部時代が非常に懐かしくなります。今回A.R.T.に執筆する機会を頂いたので自分の体験を披露することで少しでも現役諸君の参考になればと思えます。私の現役時代を振り返ると(今思うと)非常に恥ずかしいですが、

ただがむしやりに球を打ち、気合と根性がもつとも重要(多少は考えもした)が、たったような気がしますが、たまたまボールが打てるようになったら、速い一心で練習していた気がします。です。今になって振り返ると、どうやったら自分が成長(上手に、勝てるように)できるのか、客観的に自分のスキルを分析して課題を抽出し、それを克服するのにもっとも効果的な練習を組み立て実践出来たならば、もう少し良い結果を残せたのではないかとつくづく思っています。また「心・技・体」という言葉があります。自分の体験を通して思うにむしろ「体・技・心」の順番だと思えます。元氣な体がないことにはいくら技があろうと通用しませんし、元氣な体がないことには強い精神力は生まれません。試合中の冷静な強い精神力を磨くには体力をつけることが一番の近道だと思えます。それから「限界」は自分で設定するものではないです。本当の限界はどこにあるか誰にもわかりませんし、そもそも存在しないものかも知れません。「限界」を設定するのにも自分だけの力を出せるだけ、理想に近い目標を立てた方がいいのではないのでしょうか。もしも時計を戻せるならば以上の3つの事象を肝に大学生活を送りたいと思っています。



負けなさいといふこと

H5年卒 西村 恵美

現役を退いて早十数年が経ちました。今思えば、あんなに一生懸命一つのこと打ち込んだのは、後にも先にもなかったのではないかと思います。現役のみならず、今、どんな思いでテニスコートに立っていますか？

当時の私は、ただ「テニスがしたい」という思いで入部したのですが、その世界は高校の部活とはまるで違うものでした。「勝ちたい」と思うより「負けてはいけない」と思うことのほうが多かった。そうです、楽しいテニスとは程遠いものでした。でも、テニスの勝負には引き分けがありません。負けなければ勝てる。それに気づいた私は「負けなさい」とを目標にしました。それは、プレッシャーに弱い私にとってピタリな目標でした。どんな状況でも、目の前の1ポイントの勝負に負けない。どんなに苦しくても自分の弱い心に負けない。その積み重ねで強くなれると思いたったのです。

四年生の四月、最後のリーグ戦、三部昇格への入替戦に臨む時、私は『勝ちたい』と思いましたが、もちろん、試合中は緊張で手足がガチガチになりながら「絶対負けなさい、絶対負けなさい」と戦っていました。立教の勝利が決まった瞬間、涙をぼろぼろ流したことは言うまでもありません。そして「やっ」と勝てるようになったなあ」とおっしゃった伊藤謙哉先生の笑顔、今も忘れることはできません。

「現役の皆さんに伝えたいこと」

H11年卒 須賀 涼

女子リーグ戦最終日、東京農業大学との入替戦を応援に行きました。結果は残念ながら3部残留になりましたが、現役の皆さん全員が輝いているなど感じました。勝利への思いを一つにして、ひたむきに頑張っている姿には、周りにも伝わるパワーがありました。私は現在大学職員として働いているので尚更なのか、もしもあなたが「学生のためには益々頑張ろう！」と大変モチベーションが上がりました。皆さんのおかげです！

今回、僭越ながらこのような機会を頂いて原稿を書いていますが、私の現役時代は全く華々しいものはありませんでした。3年間のリーグ戦で選手として出場できたのは1戦きりでしたし、レギュラーではない主将として、リーダーシップを発揮してチームを引っ張るといふよりは、いかに個々の力を引き出しサポートできるかを考えていました。けれど「いわずもがな」だと思いますが、試合に出られなかったのが4年間が無駄だったかというところ、決してそうではありません。思い返すと、試合に勝利すること、大切なものの日々の練習やプロセスの中に、大切な要素が沢山詰まっていたのです。私の場合は、「主将だけれどレギュラーではない、チームの勝利のために私ができることは何だろう」と考えたことが、他のメンバーをサ

पोर्टすることの大切さ

や面白さに気づくきっかけとなり、それが学生を支援する大学職員への就職へと繋がりました。選手でもボウラーでもベンチコーチでも、それぞれの役割に「意味」を見出すように感じました。その役割は「意味」のあるものにきつと変わります。現役の皆さんは、目の前の様々な辛さから逃れたいように感じることもあるかもしれませんが、そんな時にはぜひ一歩立ち止まって、その「意味」を考えてみてください。

また、チームとして同じ場を共有する中で信頼しあうことを知り、友達とは違う「仲間」という存在を得たこと、そして4年間辛いことも沢山あったけれど、一つのことを追求したという自信が、今の自分を支える大きな土台となっています。実は1年の終わりに「辞めよう」と思ったことがありますが、このとき誠心誠意説得してくれた先輩方には、感謝してもきれません。同期にも後輩にもなかなか会えないけれど、今でも大好きな仲間だと思っています。

私は技術面のアドバイザーはできません。ですが、同じテニス部に所属していた者として、現役の皆さんに伝えたいメッセージは「迷うこともきつとあるけれど、精一杯テニスに打ち込んでください」ということだけです。今は地道な活動の積み重ねでわからないかもしれないけれど、振り返った時、大きな「自信」を得られるはず。心から応援しています。

頑張ってください！

「やりなる飛躍に向けて」

H14年卒 中山 陽平

みなさん、こんにちは。平成14年卒の中山です。暫く練習にも参加できず申し訳ございませんが、近年の現役の活躍を耳にし大変うれしく思っております。

今年のリーグ戦は残念ながら男子4部降格、女子3部残留という結果に終わってしまいました。チーム一丸となり随所に素晴らしいプレーを見せられておりましたので、来年、圧倒的な力で昇格して欲しいなと強く期待を寄せております。

さて、ここ数年リーグ戦は毎年応援に行っておりますので感じておられるかと少し書かせて頂きます。近年の立教テニス部の技術は監督、コーチ、現役皆さんの努力で私が現役の際に比べるとはるかに高く驚かされるばかりです。そんな中、さらなる飛躍を成し遂げるためにメンタル面、体力面のトレーニングをさらに強化して頂ければと感じました。私の現役時代にも先輩からよく言われておりましたが、何事にも良い結果を出すためには「心・技・体」をバランスよく保つことが大変重要です。今後とも「技」だけでなく是非「心」「体」にも目を向けて頂きたいと思っております。

最後になりますが現役の皆さんはテニスを死ぬほど頑張るのは当然ですが、その他諸々のことも充実させて誰にも真似できない大学生活を送って頂ければと思います。そして来年は昇格できるように頑張ってください！

「現役の皆様へ」

H18年卒 磯崎 美希

私が部活を引退してから、早いものでもう2年が経ってしまいました。引退後同期と会うとすぐ現役の時の話になりませんが、今では全てが良い思い出となっています。

富士見の木の枝をのこぎりで切ったこと、ホースを何本もつなげて水を撒いたこと、コートに穴に土を埋めたこと。もちろんリーグ、特に4年のリーグのことは本当に鮮明に思い出されます。

社会人になってからリーグの応援に行くこと、現役が本当に羨ましく思いますが、こんなにも一つのことに向かって頑張ることができる機会は、今はなかなかありません。この経験は今後にも活かされたいし、自信につながるとも思います。一生の思い出にもなります。現役の皆さんには今の時間を大切に、学生生活を満喫してほしいです。

今年のリーグでは残念ながら昇格することができませんでしたが、強い選手と話をすると意識の違いを感じます。リーグ前に焦ることがないよう、リーグが終わった時に後悔することがないように、計画を立てて練習に励んでください。他の人の力を借りた時はそのために動けば、応えてくれる方がたくさんいると思います。

そして来年は昇格できるように頑張ってください！応援しています。

中学・高校通信

立教池袋

本年度から顧問が吉田清典、副顧問が原真也に変わり、新しいチームがスタートしました。

テニス指導の経験もなく、全てが一からですが立教の伝統ある部活を背負った責任を感じつつ、日々勉強して参りたいと思っております。現高三の新役員は主将・三木原健太、副主将・橋本昂、主務・松浦健人。昨年の十一月に行われた全国選抜の東京都選考会で六位入賞の結果、本年度のインターハイ予選では第六シードで出場し、玉川学園高校、堀越高校を下し、準々決勝へ駒を進めました。大成高校に敗戦してしまいました。しかしながら、五、八位順位決定戦で五位を勝ち取り、昨年よりも順位を上げることができました。創部以来の目標であるインターハイ出場はなりませんでしたが、この結果を新チームで次に繋げて行きたいと思っております。新チームの役員（現高二）は主将・峰尾洋平、副主将及び主務山中駿です。この秋の関東選抜東京都選考会では初戦でまたしても大成高校に敗北し、涙をのみました。大学体育会のご支援を賜りながら来年春へ標準をあわせて備えたいと思っております。

(吉田)

立教新座高等学校 テニス部から

新座高テニス部 顧問 平山 晋

立教新座高校テニス部は「団体戦での全国出場」を最大の目標にコートとして本校OBでもある小井土滋章氏の指導の下、日夜練習に励んでいる。

本年度のチームは、中学一年の新人大会から団体戦のメンバーとして活躍し、立教新座中として初めての全中出場を果たした三年生を軸に、二回目の全中出場を果たした新一年生を迎え、新座中高になって最も選手層の厚いチームとなった。

しかし、本校のテニスを取り巻く環境は厳しく、埼玉県でも中学時代に優秀な戦績を持つ選手を獲得できる強豪校がいくつも現れ、学校の部活動での練習を中心に頑張っている本校は、県内でも勝ち抜くのが困難になり、全国大会の出場は、イン



ターハイでは、茨城大会（二〇〇二年）でのシングルス出場、高知大会（一九九八年）の団体戦出場を最後とし、全国選抜では、第20回大会（一九九八年）以来、遠ざかっている。

そして部員数の制限をしないという学校の方針で、高校でも最大の名という全国でも最大の部員数を持ち、限られたコート面数で短時間の練習時間しか取れないのが現状である。

このように、強豪校とは練習時間、選手のスカウティングでは太刀打ちできないが、ここ数年は中・高六年間での強化が着実に実を結び、今年度も中学は団体戦で全国中学へ二年連続三回目の出場を果たし、高校でも埼玉県ベスト4、関東大会出場戦績を修めている。かつての黄金時代には及ばないが、中高六年間の一貫した強化により、古豪、立教復活をアピールしたいと思う。

平成19年度年会費ありがとうございました。

平成19年11月25日現在

卒年 OB 氏名 (敬称略)

卒年 OB 氏名 (敬称略)

卒年 OG 氏名 (敬称略)

34年以前のOBの方々は、会費は免除になっておりますが、
たくさんの方々より、寄付金としてお預かりいたしました。

36	柘植鉄次	山中博司			55	松村隆司	大塚直人	金原 厚	36	野田昌子	八木下紗絵子			
37	鎗田秀雄	阿部直之	栗田進伍	安達正純	56	早川寿美	岸本 誠	竹石敬之	39	笹山俊子				
	河野貞夫	小西一三			57	伊藤久幸	平山 元	坂井邦夫	40	川上浩子	菅原弘子			
38	合瀬武久					高橋宏幸			41	松田弓子				
	橋本 宏	下村直史	広瀬 武		58	庄野俊夫	井上勇人	染谷孝幸	上杉信久	42	杉澤小百合			
	西山憲一	松波幹忠	倉光 純			田淵浩史	旗 栄一郎	竹下喜六	大井洋隆	43	林田千史	片山康子	斉藤弘子	
39	高橋道男	石黒 潔	玉置秀雄	伊藤正信	59	藤井孝信	阿部弘行			44	木本美代子	古庄篤子	長濱町子	倉科鈴恵
40	井上詔夫	町田昭雄	平井克忠	末藤朋昭	60	笠原康司	高橋守種	横山 浩	藤原誠之	47	伊藤美枝子			
	広瀬省蔵				61	大岡史直	佐藤昭一	山田彰彦	清宗一男	50				
41	川口隆史	深尾昌利	太田洋一	木口邦彦		石川 順				52	吉川裕子			
42	倉光 哲	濱野公哉	出口誠之	豊田資朗	平 1	柴原公博	折田浩介			53	吉原典子	山下実果	小泉恵子	高橋久美
	原田正明	昇 文彦			2	新谷守夫	最賀智正	清隆一郎	高山和則	54	村田由子	堤千賀子	山田優子	戸松まさみ
43	沢松忠幸	若杉正明	佐藤俊彦		3	上杉 佐				55	黒坂美也子	山下節子	福嶋由起	
	三浦充行				4	武市広治	青山貴志	中島宏誌		57	坂井裕美	大久保直子		
44	占野靖宗	須田健治	志田充顕	富田次郎	5	東樹秀明	白寄誠爾	小島敏正	木村達彦	59	山下真左子	池田由紀子	後藤悦子	稲田菜穂子
45	宇野 治	五十嵐哲男	佐藤雄三		6	昆野 敦	田中周作	渡辺和正	山田昇	60	永田良子	藤原亜美	山森涼子	
46	笠原賢次郎	日高啓吾	安田清志	忍賢一	7	戸田雅道		柳内 崇		平 1	加藤尚子			
47	加藤雄一	安達幸男	若井新司	中矢真人	8	増田哲也	西口弘利			3	近藤和子	島田 千代		
48	内原康雄	清水春海			9	保泉 敦	片岡 聡	深澤伯亮	金子 誠	4				
49	浅見 豊	今井広幸	武藤憲二	鈴木徹雄	10	相見典祐	後藤 孝	二塚圭介	小俣光司	5	西村恵美	吉川かおり	加藤万里子	
50	梅田憲司	井畑 清	中島幸彦	大里有二	11	太田 治	中川孝博	千葉泰久		6	加藤明見			
	立野公一				12	山崎雄一郎				7	山崎江津子			
51	鈴木一広	佐藤信夫			13	久々湊仁彦	神藤浩史	吉崎太二	大熊隆史	10	吉田 涼			
52	鈴木 宏	石上富一			14	岡 利之	村木祐介			11	島中暁子	金谷美幸		
53	山下哲夫	鷺田典之			15	里和勇人				12	山崎真由美			
54	加倉井 理	鈴木康正	秋元英晴	久保勝延	16	高田健太郎	大野潤三			13	太田佳世子	井口郁子		
	岩立文雄	原田 豊	角野俊平	渡辺薫	17	井口博之				14	柏木二三子			
	洞田雅之				18	戸田 淳	豊住浩史	山内寛人		16	中條奈保子	寺岡佑希子	吉井悠子	
					19	嶋津 亮				17	油木淳子	佐々木ひとみ	杉田美奈子	黒崎由紀子
						五味晃一	都築亮太	阿部研人	鍋木悠生	18	根岸芳恵	磯崎美希		
						川名啓明	高橋泰洋	神山直樹		19	福田恭子	吉村珠美	涌井美雪	

創部100周年記念事業募金にご協力頂き有り難うございました。 平成19年11月現在

卒年	OB 氏名(敬省略)	卒年	OB 氏名(敬省略)	卒年	OG 氏名(敬省略)		
	伊藤 謙哉	S53	山下 哲夫	S36	八木下 紗絵子		
	西村 博文	S54	原田 豊	S40	川上 浩子		
S18	岡野 利壽	S55	金原 厚	S41	松田 弓子		
S25	山本 実	S56	早川 寿美	S43	林田 千史	片山 康子	
S26	平野 謙哉	S57	田鍋 文啓	S53	山下 実果	小泉 恵子	
S27	岸本 駿二		伊藤 久幸	S55	山下 節子	黒坂 美也子	
S30	平澤 秀吉	橋本 幸信	井上 勇人	S57	坂井 裕美		
S31	小野 真義	一條 正志	田淵 浩史	S60	増沢 真弓	藤原 亜美	永田 良子
S32	宮岸 武		阿部 弘行	S62	増村 真理子		
S33	藤林 勇雄	川上 岳	高橋 守種	H3	島田 千代		
S34	小田原 正直	井田 悦夫	大岡 史直	H5	西村 恵美		
	小笠原 潤	瓦林 聖児	柴原 公博	H12	塩沢 ちえり		
	副島 光彦		新谷 守夫	H16	吉井 悠子		
S35	河内 進		中島 宏誌				
S36	山中 博司		山田 昇		白寄 誠爾	小島 敏正	
S37	鎗田 秀雄	安達 正純	小田 真義		柳内 崇		
	小西 一三	栗田 進伍	宮本 匡				
S38	下村 直史	合瀬 武久	久々湊 仁彦				
	倉光 純	西宇 昭男	大熊 隆史				
S39	唐澤 靖治		五味 晃一		阿部 研人	鍋木 悠生	
S40	広瀬 省蔵	井上 詔夫	神山 直樹				
S41	大田 洋一						
S44	占野 靖宗	富田 次郎					
S45	上野 城太郎	宇野 治					
S47	中矢 真人						
S48	内原 康雄	清水 春海					
S49	浅見 豊	鈴木 徹雄	武藤 憲二				
	今井 広幸						
S50	梅田 憲司	中島 幸彦	立野 公一				
	大里 有二						
S51	鈴木 一広						
S52	鈴木 宏						

計 報

長谷川 督士先輩 (昭和三十一年卒)
平成十六年九月三十日

花岡 健三先輩 (昭和三十三年卒)

高坂 英順先輩 (昭和三十五年卒)
平成十八年十二月

立教大学体育会テニス部男子名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校	
4	法	国比		佐藤 智哉	県立水戸第一	
				高橋 真也	県立春日部	
				柳内 佑樹	私立立教池袋	
				藤井 彬	私立サレジオ学院	
3	経済	経営	主将	田村 浩紀	都立日野台	
				主務	柏原 啓大	私立國學院久我山
				副将	林 大祐	私立立教池袋
				副務	森 健一	私立立教新座
2	文	教育	副務	根本 夏海	県立多摩	
				大神 裕作	県立港南台	
				永田 佳樹	県立湘南	
				平岩 佳祐	都立大泉	
1	文	国際ビジネス	チーフ	阿部 徹	市立浦和	
				天羽 孝博	県立佐倉	
				小部 亮介	私立弘学館	
				末広 大智	県立東金	
現代心理	心理	史		曾根 伸也	県立港北	
				染谷 有	都立武蔵	
				藤間 秋洋	私立國學院	
				原田 秀太	私立國學院	
文	英文	政策		大端 大	県立浜松南	
				石田 雅之	私立立教新座	
				大槻 翔太	私立本郷	
				緒形 昌輝	私立柳川	
文	英文	政策		神田 聖太	県立船橋	
				菊池 大輔	県立蓮山	
				佐々木 文博	私立川越東	
				環 卓伸	私立立教新座	
文	英文	政策		益田 宏樹	県立宮崎西	
				米津 吉晃	私立名古屋	

立教大学体育会テニス部女子名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校
4	文	心理		戸澤 夕葵	私立藤村女子
				松本 奈穂子	県立宮城野
3	経済	国比	主将	塚田 昌子	県立新発田
				主務	五味 瑛利子
2	法	国際経営	副将	渡邊 梓	私立浦和学院
				副務	北沢 佳奈
1	理	生命理		大森 有美子	私立宇都宮海星女子学院
				磯崎 美希	私立立教女子学院
文	キリスト教			滝口 菜々子	私立立教女子学院
				松本 綾子	市立舟入
				横山 由貴	私立関東学院六浦

ホームページ開設のお知らせ

テニス部では、最新の情報、試合結果等をインターネットにて公開しております。是非ご覧ください。

<http://www.sptc-rikko.net>